

教科	音楽	学年	1 学年	標準授業時間数	45 時間 (週1時間)
----	----	----	------	---------	--------------

目 標	教科目標	<p>(1) 『学び合い』を軸にした活動展開を通じて、音楽することの喜びを体感し、音や音楽への興味関心を培う共に、音楽によって生活を彩り豊かなものにしようとする態度を育む。</p> <p>(2) 音楽表現の豊かさや美しさを感じ、基礎的な表現の技能を身につけ創造的に表現する能力及び意欲を培う。</p> <p>(3) 多様な音楽に触れ、興味・関心を広げつつ幅広く鑑賞する能力を育む。</p>
	具体目標 (到達目標)	<ul style="list-style-type: none"> 授業で扱う内容について、学習目標を理解し、興味関心を持って取り組める。 基本的な演奏技能(ベーシック)を理解し、正しい発声法を身につけ、音楽の表現活動に活かすことができる。 演奏(歌唱・器楽演奏)に際して、アーテュレーションを工夫し、内在する劇性を感じながら、曲想にあった表現を試みる。 多様な音楽に関心をもち、鑑賞しようとする。

評 価	観 点	音楽への関心・意欲・態度	25%	音や音楽への興味・関心を持っている。 授業道具を忘れない。
		音楽的な感受や表現の工夫	25%	音色、リズム、旋律、和声がもたらす揺れや劇的効果を理解し、ダイナミクスなどを工夫した表現ができる。
		表現の技能	25%	豊かな表現に必要な基礎的な技能を身につけ、創造的に表現できる。
		鑑賞の能力	25%	楽曲の雰囲気や曲想と諸要素の働きによる効果などを感じ取って聴く。
	材 料	授業態度・忘れ物・実技テスト・鑑賞ノート・プリント・定期テスト		
方 法	各評価材料を観点別に基準に従って評価する。 それぞれの結果を総合的に判断する。			

学 習 方 法	使用教材	教科書 中学生の音楽 (教育芸術社) 中学生の器楽 (教育芸術社)	
	学習形態	教室では、一斉授業の形で進める。 合唱並びに器楽などのアンサンブルでは、生徒相互の『学び合い』を主軸に据え、パート又はセクション毎の活動を展開する。	
	学 習 の 進 め 方	学 校	<ul style="list-style-type: none"> 歌唱のベーシックを理解し、変声期に対応できる発声法を身につける。 範奏・範唱にしっかり耳を傾け(鑑賞)、曲想や作品の劇性を十分に感受し、(音楽の感受)、作者や音楽上の意図をしっかり踏まえた上で(分析)、豊かな表現を目指す。 表現技能の向上を目し、意欲的に取り組む気持ちを忘れず反復練習に勤しむ。 黒板に書かれたことはノートにまとめ、後の学習内容整理に役立てる。 鑑賞教材では自分の感じたことを表現しつつ、音楽的素養と知識の深化を図る。
		家 庭	<ul style="list-style-type: none"> その日の学習内容をきちんと整理しておく。 歌唱教材は日常より歌詞を覚えるように心がけておく。 自らの愛好する音楽を、家庭でも聴く習慣を持ち、音楽感受の力と幅を日頃から養うようにする

学習内容

月	単元名・項目	時数	学習のポイント
4	*声を合わせて 「中広中学校校歌」「国歌」 「明日という大空」「パフ」 「主人は冷たい土の中に」 「マイ・バラード」	5	<ul style="list-style-type: none"> のびのびと豊かな声で歌うことができる 曲種に応じた発声ができる。 リズムの違いやハーモニーの変化を感じ取って表現できる。
5	*アルトリコーダーの響き アルトリコーダーレッスン1 「喜びの歌」 アルトリコーダーレッスン2 「聖者の行進」	4	<ul style="list-style-type: none"> アルトリコーダーの基本的な奏法が理解できる。
6	*歌のベーシック 「COSMOS」(混声三部合唱曲) 歌声セミナー①(姿勢/呼吸) 歌声セミナー②(響きづくり)	5	<ul style="list-style-type: none"> 歌のベーシック(基本姿勢)を理解し実践できる。
7	*イメージと音楽 春『第一楽章』	3	<ul style="list-style-type: none"> 楽曲の標題性を理解し、演奏上の表現技法の工夫を感受し鑑賞できる。 弦楽器の種類と特徴を理解できる。
9	*イメージと音楽 歌曲「魔王」とラジオドラマ制作 「野ばら」	5	<ul style="list-style-type: none"> 作曲家の生涯と音楽的特徴を理解し鑑賞できる。 歌曲の形式を理解し、歌詞の内容に伴う音楽の劇性的変化を感受できる。
10	*合唱の喜び 各クラスの合唱曲 「COSMOS」(混声三部合唱曲)	4	<ul style="list-style-type: none"> 混声合唱の響きを楽しみ、曲想に応じた表現の工夫を凝らすことができる。
11	*詩と旋律 「赤とんぼ」「夏の思い出」	4	<ul style="list-style-type: none"> 詩と音楽が一体となった美しさを感じ取って聴くことができる。
12	*アルトリコーダーの響き アルトリコーダーレッスン3 「アニーローリー」「オーラリー」	3	<ul style="list-style-type: none"> アルトリコーダーの基本的な奏法が理解できる。
1	*郷土の音楽 日本各地の民謡など	3	<ul style="list-style-type: none"> 日本人の生活や心情を映した郷土の音楽に親しむ。
2	*日本の伝統音楽・アジアの音楽 「尺八・箏」 アジア各国の民族音楽	4	<ul style="list-style-type: none"> 日本の伝統楽器に関心を持つ。実際に楽器に触れ、箏を演奏することによって奏法や音色の美しさを理解する。 アジアの多様な音楽に親しむ。
3	*アルトリコーダーの響き アルトリコーダーレッスン3 いろいろなアンサンブル *合唱の喜び 合唱曲、卒業合唱曲	2 3	<ul style="list-style-type: none"> アルトリコーダーの応用的な奏法が理解できる。 いろいろなアンサンブルの良さを感じ取り、アンサンブルに親しむ。 詩の意味を感じながら気持ちを込めて歌う。